北海道女子ミッドアマチュア選手権〈最終日〉

ーキーティーショットを放つ川原田

◇24日◇札幌・真駒内CC藻岩（6055ヤ、パー72）◇出場63人

首位スタートの川原田梨紗（30＝HGA個人会員）が79で回り、通算152でルーキーイヤーで初優勝を飾った。この日は30歳の誕生日で二重の喜びとなった。マッチングスコアカード方式により、上位6人には11月20、21日に広島・リージャスクレストGCで開催される日本女子ミッドアマチュアへの出場権が与えられた。

◆道女子ミッドアマ歴代優勝者◆

回	年	優勝者	所属	スコア
1	1991	川原由美子	札幌ゴルフ倶楽部	156
2	1992	横山真紀	札幌ゴルフ倶楽部	156
3	1993	中川真紀子	札幌ゴルフ倶楽部	156
4	1994	佐藤千恵	札幌ゴルフ倶楽部	156
5	1995	代田麻紀	札幌ゴルフ倶楽部	156
6	1996	中川真紀子	札幌ゴルフ倶楽部	156
7	1997	中川真紀子	札幌ゴルフ倶楽部	156
8	1998	川原由美子	札幌ゴルフ倶楽部	156
9	1999	川原由美子	札幌ゴルフ倶楽部	156
10	2000	川原由美子	札幌ゴルフ倶楽部	156
11	2001	川原由美子	札幌ゴルフ倶楽部	156
12	2002	川原由美子	札幌ゴルフ倶楽部	156
13	2003	川原由美子	札幌ゴルフ倶楽部	156
14	2004	川原由美子	札幌ゴルフ倶楽部	156
15	2005	川原由美子	札幌ゴルフ倶楽部	156
16	2006	川原由美子	札幌ゴルフ倶楽部	156
17	2007	川原由美子	札幌ゴルフ倶楽部	156
18	2008	川原由美子	札幌ゴルフ倶楽部	156
19	2009	川原由美子	札幌ゴルフ倶楽部	156
20	2010	川原由美子	札幌ゴルフ倶楽部	156
21	2011	川原由美子	札幌ゴルフ倶楽部	156
22	2012	川原由美子	札幌ゴルフ倶楽部	156
23	2013	川原由美子	札幌ゴルフ倶楽部	156
24	2014	川原由美子	札幌ゴルフ倶楽部	156
25	2015	川原由美子	札幌ゴルフ倶楽部	156
26	2016	川原由美子	札幌ゴルフ倶楽部	156
27	2017	川原由美子	札幌ゴルフ倶楽部	156
28	2018	川原由美子	札幌ゴルフ倶楽部	156
29	2019	川原由美子	札幌ゴルフ倶楽部	156
30	2020	川原由美子	札幌ゴルフ倶楽部	156
31	2021	川原由美子	札幌ゴルフ倶楽部	156
32	2022	川原由美子	札幌ゴルフ倶楽部	156
33	2023	川原由美子	札幌ゴルフ倶楽部	156
34	2024	川原由美子	札幌ゴルフ倶楽部	156
35	2025	川原由美子	札幌ゴルフ倶楽部	156
36	2026	川原由美子	札幌ゴルフ倶楽部	156

2位と5打差 圧勝152 誕生日V 30歳 川原田

節目の抱負「結婚」と「全国5位以内」

30歳の誕生日に初優勝した川原田は指を3本立てて喜んだ

◆川原田梨紗（かわはらだ・りさ）1984年（昭59）9月24日、札幌市出身。ゴルフは小学4年から始め、現在ハンディキャップはプラス1・8、ベストスコアは71。得意なクラブはドライバーで平均飛距離は250ヤ。身長163ヤ。家族は両親と兄。

坂田塾1期生

優勝カップを手に記念撮影に応じる川原田の顔が一瞬曇った。「優勝はうれしいですが、ちょっと複雑な気持ちで…」。その原因は直前から「誕生日V、おめでとう」と声を掛けられたせいだ。優勝を決めたこの日は節目の30歳の誕生日。「前の夜は30代が終わるんだと眠れなかった」と、乙女心は勝利の喜びと現実に揺れ動いた。

首位に対する緊張感は一点の曇りもなかった。「78以下で回り、良いスコアを出す」という強い思いでスタート。1番パー4は5W（ウッド）で打ったショットが左に曲がり、「3オン2パットのボギー発進。「これで開き直った」と2番パー4でバーディーを奪い、勢いを取り戻した。後半はショットとパットに苦しみ、13番では2位に1打差まで迫られたが、「優勝を考えず普段通りにやろう」と一打一打に集中。15番パー5でバーディーを決めるなど終わってみれば2位に5打差の圧勝だった。

義の勧めで小学4年からゴルフを始めた。坂田塾の一期生でもある。実力は折り紙付きで、日本ジュニア選手権12－14歳の部で96年に8位、99年7位と活躍。道内ジュニア界を引っ張った。当時は「ゴルフをやらされている感があって嫌いだったが、親孝でやっている今は楽しい」と笑った。

ジュニア時代以来12年ぶりに北海道ゴルフ連盟役員で優勝を果たした。9月に行われた男子ジュニアで同学年の宮本太郎がルーキー優勝し、刺激を受けた。次の目標は「個人的には殿堂したい。試合では全国で5位以内」と力強く言った。

追撃届かず 2位T川

5位タイ発進で追撃を狙った平川彩子（40＝サ・ノースカントリー）は81と崩れ、2位に終わった。この日は前半をトリプルボギー、1ダブルボギーの3つで我慢のゴルフ。後半13番までトップの川原田に1打差まで迫ったが、3連続ボギーなどでスコアを落とした。初代女王で第4回大会でも優勝。「思い入れのある大会だったので、優勝は狙っていた。でも今日はいっぱいいっぱい。全国大会では上位を目指し、楽しんでくる」と気持ちを切り替えていた。

平川は安定したショットを放つ

ケガの功名 3位T島

ルーキーイヤーの三島菜津子（30＝ハッピーバレー）が前日の22位から3位に躍進した。第1日は83で「今日は楽しくやろう」と気楽な気持ちで臨んだ。4番パー4で30センチをチップインバーディーを決めて波に乗り、最終日ベストの75をマークした。2週間前に腰を痛めて痛み止めの薬を飲んでの強行出場。「フルスイングが出来ないのが功を奏したのかな。全国では過去一度もない予選通過をしたい」と意気込んだ。

◆昨年の覇者で4位タイの田中亜実（38＝真駒内）が前日の22位から3位に躍進した。第1日は83で「今日は楽しくやろう」と気楽な気持ちで臨んだ。4番パー4で30センチをチップインバーディーを決めて波に乗り、最終日ベストの75をマークした。2週間前に腰を痛めて痛み止めの薬を飲んでの強行出場。「フルスイングが出来ないのが功を奏したのかな。全国では過去一度もない予選通過をしたい」と意気込んだ。

◆6位ながらマッチングスコアカード方式で全国大会出場権を得た高畠さとみ（47＝羊ケ丘）昨日とは打って変わってパットが入ってくれた。

◆最終日に10ボギーの82で4位の池田祥子（45＝真の日は何でこんなにたたいたんだろう。

◆10位タイの坂田信弘プロ（64）3バットが9回もあった。全国では8バットを1つでも減らす。

◆道女子ミッドアマ最終日成績◆

順	選手名	所属	通算	上がり(71ヤ)
1	川原田梨紗	HGA個人会員	152	79(38-41)
2	平川彩子	サ・ノースカントリー	157	81(39-42)
3	三島菜津子	ハッピーバレー	161	75(37-38)
4	池田祥子	真駒内	164	82(41-41)
T5	田中亜実	真駒内	165	80(39-41)
T5	高畠さとみ	羊ケ丘	165	83(41-42)
T7	坂田信弘	坂田塾	166	83(41-42)
T7	横山真紀	札幌ゴルフ倶楽部	166	84(41-43)
T7	佐藤千恵	札幌ゴルフ倶楽部	166	84(41-43)
T7	代田麻紀	札幌ゴルフ倶楽部	166	84(41-43)
T11	中川真紀子	札幌ゴルフ倶楽部	167	84(41-43)
T11	中川真紀子	札幌ゴルフ倶楽部	167	84(41-43)
T11	川原由美子	札幌ゴルフ倶楽部	167	84(41-43)
T11	川原由美子	札幌ゴルフ倶楽部	167	84(41-43)
T11	川原由美子	札幌ゴルフ倶楽部	167	84(41-43)
T16	川原由美子	札幌ゴルフ倶楽部	168